日本共産党
町田市議団

バス交通／障がい者就労／２０間期間限定認可保育所

切実な願いの実現に全力！

公共交通の柱としてバス交通の拡充を

1月31日、日本共産党市議団は、神奈川中央交通株式会社に対して、「鶴川から市民病院まで直行バスを」「小山田桜台から多摩センターまでバスの延伸を」「乗り継ぎの際に初乗り料金がかからない設定に」「シルバーパスを都県境でも使えるように」など、全36項目の「申し入れ」をおこないました（右の写真）。

参加した市民の方からも、「野津田車庫の入り口はいつも危険。渋滞の原因にもなっておりすぐに安全対策を」「等間隔でバスが来るような工夫。終バスの時間をもう少し遅くして」など改善のための具体的な声が出されました。

引き続き、交通弱者が生まれないように、町田の公共交通の柱としてバス交通の拡充を求めていきたいと思います。

「障がいを持っていても当たり前に暮らせる社会に」

現場を視察し、現場の声に基づいた改善を

3月の予算議会に向けて、日本共産党市議団は施設の視察や各団体と懇談をおこなっています。

1月は、芹が谷会館内にある精神障がい者の就労支援施設を訪ね話をうかがいました。

昨今の厳しい雇用状況の下で、一人ひとりの障がいに向き合いながら自立をめざした就労に結びつけるのは大変です。登録者１２７名に対して、まだ20名しか就労していないことが現実の厳しさを物語っています。障がいを持っていても当たり前に暮らしていくことのできる社会でなければなりません。

また、町田市が全国的に注目された、20年間期間限定認可保育所（新築型１００人規模、建物改修型50人規模）２カ所も視察しました（上の写真）。

待機児解消のための目玉施策で華々しく打ち上げた町田方式ですが、20年後どうなるのかという不安を抱えながらの運営です。いい保育をしたいと願う保育士さん達の熱意で、子どもたちは元気いっぱい。園長さんからは家賃補助など行政への要望をうかがいました。

今後は、市内小中学校への視察なども計画しています。現場の声をつぶさに聞き市政につなげ、課題改善と要求実現のためにがんばります。

第1回定例会の日程

2/28	月	本会議・4常任委員会	
3/2	水	本会議（表決・施政方針）	
7	月	本会議（一般質問）	
8	火	本会議（一般質問）	
9	水	本会議（一般質問）	
10	木	本会議（一般質問）	
11	金	本会議（質疑）	
14	月	総務・健康福祉常任委員会	
15	火	総務・健康福祉常任委員会	
16	水	文教社会・建設常任委員会	
17	木	文教社会・建設常任委員会	
29	火	本会議（表決）	